

# 道

2023・12・6

通信 No 1761



アキノノゲシ

本日の練習 6時半～8時 45 分(岡野中学) 清水・小坂先生 1部

次回(12/13)の練習 6時半～8時 45 分 (岡野中学)小坂先生 二宮先生

12月9日(土) 道草コンサート 引き続き「忘年会」

石田さんに「55周年の演出のねらいや思いなど」を教えてくださいました。

石田勉

5年節目の定期演奏会は特別な位置づけをしてきました。寸劇やスライドを交えて人生を歌で綴る「A子の青春」(50周年=2019)など、記憶に残っていると思います。また、全曲を「ロシア民謡」で構成してきました。55周年はゾロ目でもあり、何か特別な企画ができると良いと思いました。一方で、団員の高齢化・減少傾向や、ロシアによる侵略戦争の影響で「ロシア民謡」との向き合い方など、次の節目の60周年は同じようには望めないように思えます。今までの当たり前は、これからは「特別」になるかもしれません。「55周年の演奏会を「道」らしく、今まで通りの形で成功させたい(企画選曲委員会)」ということを中心に、55年間も合唱団を続けてこられたことに～感謝をこめて～記憶に残るような演奏会ができれば良いと思います。

第1部は、思い出の「ロシア民謡」と題して、団塊世代なら一度は踊ったフォークダンスの思い出で開幕。「メドレー」ではお客様それぞれの思い出に重ねて聞いていただくという趣向にしました。そして合唱団として最大の思い出といえる3回にわたるロシア旅行にまつわる「バイカル湖のほとり」は清水先生の熱血解釈でお客様を魅了させたい、さらに、思い出とともに未来に向けて、今まさに荒れ狂うドニエプルの一日も早い平和を願ってウクライナ民謡を歌い切るという構成になります。

第2部で、今回お招きする岸本力さんは、ロシア曲一筋に歌ってきたがロシアの軍事進攻に悩みながらも「今こそ戦争に反対し、歌で平和を訴える時」とおっしゃっています。よく知られた曲を選んでいただいたので、合唱曲と調和したステージを期待しています。

第3部。小坂先生は、曲想をよく色で表されますね。曲名や歌詞に「色」が出てくる曲を集め、総称としてロシアロマンスのきらめきとしました。「赤いサラファン」などはすぐに分かりますが、「せわしき流れの川」などは演奏を聞かないと何色が出てくるか分かりません。“謎解き”をお客様に楽しんでいただこうと思います(そのためにも、お客様に歌詞が伝わるよう歌いましょう)。実は、第3部の構成にはもう一つの謎解きを用意しています。部外秘ですので道通信では省きますが、合唱団そのものがきらめくような演奏ができると良いと考慮中です。

従来実施していた、会場のお客様との全体合唱はコロナ対策で中止していますが、55周年も慎重を期すことになりました。なお、演出チームとして安藤さん(B)齋藤さん(A)にも加わっていただきました。どうぞよろしくお願いいたします。\*「ロシア民謡」と括弧を付けたのは、「所謂または通称として」という意味合いで使用しています。

本日の配布物「Doit 伝えたい、未来へ紡ぐ音のかけ橋 2023」しおり